第 2013-35 号

恵みと真理のニュース

2013 年 10 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　愛する魂を満たしてくださり、飢えた魂を良いもので満たしてくださった主の恵みを賛美します。

私は青年の時お姉さんをついてソウルの小さい教会で信仰生活を始めました。信仰が成長する前 1991 年に不信者の旦那と結婚をしてスワンで新婚生活をしました。必ず続けて教会に通わなければならないと姉の頼む事もあってまた知っている人も一人もいなくて家の近くにある教会を通うかと思いました。その時にちょうど隣の家に住む恵みと真理教会の区域長が私をスワン聖殿へ導いてくれました。幸いに当時には旦那が私を迫害知ってなかったです。
それで一番の子を妊娠した時にも聖歌隊にしばらく奉仕も出来ました。旦那の職場の事で仕方なく引越しをしました。二番目の子をおんぶしてそこにある私達の教会を通いながら金曜礼拝の聖歌隊で熱心に奉仕しました。
その頃祈りの時間に聖霊に満たされました。その後にはただ神様の栄光のため主を喜ばせるためもっと主の事に力を入れて私の心に神霊な喜びが溢れるようになりました。
神様は私に教会学校で児童部の教師として奉仕する機会も与えてくれました。神霊な知識も足りなくて知恵と能力も足りなかったですが神様に祈って伝道士をはじめ先輩の先生に習いながら最善をつくすと神様は時ことに助ける恵みを与えてくださり子供を見守って仕えることが言葉で表現できないほど楽しくて感謝でした。
このように熱心に教会中心の生活をすると旦那の迫害が始まりました。教会でクリスマスの行事をよく終えて子供達と家に帰って来たら旦那がドアを閉めて開けてくれなかったです。仕方なく近くに住んでいる首区域長の家で寝て次の日に主日にまた教会から家に帰って来たらもうドアに張ってあったキョウペ（自分が通っている教会の名前を家のドアに張る物）がはがしてありました。旦那は私に何のことも言わなかったです。
それゆえ、あなたがたは、心から喜んでいるのです。今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばならないかもしれませんが、 あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊くて、イエス.キリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもたらすのです。（ペテロへの手紙一　１章 6，7 節）
団なの迫害が酷くなるほど私はむしろもう神様が旦那に恵みを与えてくださり旦那を救ってくださる日が近づくのだと肯定的で希望的な考えをしました。その間旦那の迫害が多くなかったから旦那のため祈る事をおろそかにした事を悔い改めながら熱心に福音を伝えながら旦那の救いのため神様に祈りました。
そうする間旦那に急に糖尿病が訪れました。糖の数値が 600 が超え病院に行ってすぐ入院しました。病院にいる間私の真心と教区長の聖徒の度重なる訪問を受け旦那の心が少しづつ開きました。
どころが迫害と思春期の息子の葛藤で心の苦労した私にも小さいかたまりが出来ました。病院に行って検査を受けたら 上皮内癌の診断されました。
幸いな事で深刻な病気でなくて、神様の恵みのなかで手術が良く出来て放射線治療までよく受けました。
“ わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、 虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。（コリント信徒への手紙二　４：８，９）という御言葉を覚えながら神様に感謝しこれからは旦那の健康のため切に祈りました。
私が回復して家で聖書を書いている時に旦那は何を知っているのかと関心を表しました　“神様の御言葉を読んで書いています。”と言ったら旦那も関心を見せながら私もやってみると言いました。神様は人を救うために一人を選択して呼ばれる時にどんな方法で呼ぶかは分からないのに、珍しい事でした。そのように旦那は神様に選ばれ神様の息子で生まれ変わりました。
. 家で聖書を読んで移し書く事をした後礼拝に参席すると珍しく当会長の牧師の説教のなかで その区節を説明し教訓してくれるから説教を聴くのが楽しくて教えが耳に入るから楽しんでました。その年の夏に水の洗礼を受けましたが心が硬かった人が神様に真実な信仰の告白をして牧師の祈りと祝福を受け体全てが水に浸かって出てくる時に私の心が感動になり喜びと感謝の涙を流しました。
旦那は神様がくださった尊い執事の職分まで受け昼夜繰返す勤務して忙しいなかでも主日には教会で車で聖徒を仕えながら楽しく奉仕しています。私も手術を受けて 5 年になり 1 年に一回検査を受けるくらい健康が回復し女性奉仕連合会と金曜礼拝の聖歌隊で奉仕をしています。
“わたしたちの主イエスが来られるとき、その御前でいったいあなたがた以外のだれが、わたしたちの希望、喜び、そして誇るべき冠でしょうか。（テサロニヶ人への手紙二　２：１９）主の前でたつその日の喜びと栄光を考えながらひたすら主だけを愛し捧げる事を決心しながら私の家族を救ってくださり教会と聖徒を仕え献身する恵みを与えてくださった神様の恵みと愛に感謝を捧げます。
私達の教会の目標とアンチュン．ジンイ聖殿のリバイバルのためまた私の家族が当会長の牧師の尊く恵みの御言葉を聴いて御言葉と聖霊で満たされ祝福ある人生になるように、当会長の牧師の健康のため私達の家族は両手を合わせて祈ります。 主は渇いた魂を飽かせ／飢えた魂を良いもので満たしてくださった（詩篇　１０７：９）

［信仰コラム］　あなたは聖霊（せいれい）を受（う）けましたか?

″…それは、彼らはただ主イエスの名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊はまだだれにも下っていなかったからである。17 そこで、ふたりが手を彼らの上においたところ、彼らは聖霊を受けた。″（使徒言行録 8:14~17）

人（ひと）たちに″あなたは聖霊（せいれい）を受（う）けましたか?″という質問（しつもん）をすれば、いくつかの返事（へんじ）を聞（き）くようになることです。様々（さまざま）な答（こた）えが出（で）るようになる理由（りゆう）は’聖霊（せいれい）を受（う）けて’に対（たい）する理解（りかい）不足（ぶそく）のためです。’聖霊（せいれい）を受（う）けて’について全（まった）く知（し）らなかったり、正確（せいかく）にわからないものはとも信仰（しんこう）生活（せいかつ）の発展（はってん）を封鎖（ふうさ）する要因（よういん）になります。そこで″あなたは聖霊（せいれい）を受（う）けましたか?″という質問（しつもん）について詳（くわ）しく理解（りかい）して答（こた）えなければなりません。もちろんその知識（ちしき）は徹底（てってい）的（てき）に聖書（せいしょ）に基（もと）づいたものでなければなりません。3 種類（しゅるい）の答（こた）えに関（かん）してご覧（らん）ください。
″聖霊（せいれい）についてわかりません。″と答（こた）える人（ひと）がいます、イエス・キリストを信（しん）じない人（ひと）が聖霊（せいれい）について分（わ）からないものは当然（とうぜん）のことです。しかし、キリスト人（にん）の場合（ばあい）もあるが、使徒言行録に記録（きろく）されている小（しょう）アジアのエペソに建（た）てられた初期（しょき）教会（きょうかい）の信者（しんじゃ）たちの状態（じょうたい）がさようでございましたエペソ信者（しんじゃ）たちは彼（かれ）らが待望（たいぼう）していたメシアーがイエスということをパウロの教（おし）えを受（う）けて信（しん）じた後（あと）、浸水（しんすい）洗礼（せんれい）を受（う）けてパウロの按（あん）手（て）を受（う）ける時（とき）、聖霊（せいれい）を受（う）けました。
″私（わたし）は、イエス様（さま）を信（しん）じているため、聖霊（せいれい）を受（う）けた人（ひと）です。″と答（こた）える人（ひと）がいます″すべてのキリスト教人は省令（しょうれい）で洗礼（せんれい）受（う）けました。。。だから、違（ちが）って、また聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）を受（う）けなければならないというのは正（ただ）しくないです。″といえば部分（ぶぶん）的（てき）に正（ただ）しいが、彼（かれ）が聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）について完全（かんぜん）な知識（ちしき）を持（も）っていないということを表（あらわ）しているのです。聖書（せいしょ）には 3 つの洗礼（せんれい）があります。第（だい）一（いち）に、省令（しょうれい）でキリストと連合（れんごう）することになる洗礼（せんれい）があります。悔悟（かいご）して、イエスキリストを迎接（げいせつ）することです。第（だい）二（に）に、浸水（しんすい）洗礼（せんれい）があります。、イエス・キリストを信（しん）じて昔（むかし）の人（ひと）は死（し）に、新（あたら）しい人（ひと）なっており、キリストに属（ぞく）した者（もの）がなったことを現（あらわ）す神聖（しんせい）な儀式（ぎしき）です。第（だい）三（さん）に、イエス・キリストを信（しん）じて聖霊（せいれい）として生（う）まれ変（か）わった者（もの）が聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）を受（う）ける体験（たいけん）としての聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）があります。
″私（わたし）は、イエス様（さま）を信（しん）じて何（なん）年（ねん）か経（た）ったがまだ聖霊（せいれい）は受（う）けられなかったです。″と答（こた）える人（ひと）がいます、このような返答（へんとう）をする人（ひと）は聖霊（せいれい）を受（う）ける体験（たいけん）が 2 種類（しゅるい）ということを知（し）っている信者（しんじゃ）です。、イエス・キリストを信（しん）じることを意味（いみ）する’聖霊（せいれい）を受（う）けて’と、キリスト人（にん）につがれる聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）の体験（たいけん）な’聖霊（せいれい）を受（う）けて’がそれぞれ異（こと）なる体験（たいけん）ということを知（し）っている信者（しんじゃ）です。聖書（せいしょ）には 2 種類（しゅるい）の聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）をおっしゃっています。1 番（ばん）目（め）は、イエス・キリストを信（しん）じて迎（むかへ）接（せっ）する者（しゃ）が聖霊（せいれい）で生（う）まれ変（か）わって新（あたら）しい命（いのち）を受（う）け、キリストと連合（れんごう）されるものを指（さ）して’聖霊（せいれい）で洗礼（せんれい）を受（う）けて’または’聖霊（せいれい）を受（う）けて’と申（もう）します。二（ふた）つめは、イエス・キリストを信（しん）じて生（う）まれ変（か）わった信者（しんじゃ）が聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）を経験（けいけん）することになるものを指（さ）して’聖霊（せいれい）洗礼（せんれい）を受（う）けること’または’聖霊（せいれい）を受（う）けて’と申（もう）します。このような聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）を’聖霊（せいれい）の取（と）り組（く）むこと’、’聖霊（せいれい）の充満（じゅうまん）することに’と言（い）います。それで聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）、聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）し、聖霊（せいれい）受（う）けたことを同意（どうい）語（ご）として使用（しよう）しています。ところが、最初（さいしょ）聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）の体験（たいけん）な聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）は一（いち）度（ど）あるが、聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）することは何（なん）度（ど）もいます。たえ難（むずか）しい試練（しれん）と通貨（つうか）危機（きき）、逼迫（ひっぱく）、逆境（ぎゃっきょう）を十分（じゅうぶん）に克服（こくふく）して、他方（たほう）では福音（ふくいん）を大胆に伝（つた）えて大（おお）きな標的（ひょうてき）と記事（きじ）を表（あらわ）すことができるようにするために聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）をくれます。聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）は聖霊（せいれい）の臨在に浸（ひた）るようになって圧倒（あっとう）されるものです。聖霊（せいれい）が引（ひ）き渡（わた）すことに完全（かんぜん）に引（ひ）かれて行（い）く状態（じょうたい）になることです。まだ聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）を意味（いみ）する聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）を受（う）けていない方（ほう）は聖霊で洗礼（せんれい）を受（う）けるを訴願（そがん）して、懇救してください。聖霊（せいれい）の洗礼（せんれい）を体験（たいけん）した方（ほう）達（たち）は重（かさ）ねて聖霊（せいれい）充満（じゅうまん）することを訴願（そがん）して、祈祷（きとう）してください。それで、神（かみ）様（さま）がくれる権能（けんのう）を受（う）けて大胆（だいたん）で熱情（ねつじょう）的（てき）で力強（ちからづよ）く信仰（しんこう）生活（せいかつ）をして下（くだ）さい

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

聖なる熱心とビジョンと消費

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

イエスキリストを信じればまことに驚くべきで神秘な体験をするようになります．神様頃から罪の赦しを受けて義のあるようになります．聖霊で生まれかわって神様の子になります．このような体験たちは他の方途では経験することができないです．このような体験たちによって新しい身分を持つようになります．その身分を現わすさまざまな呼称があります．“キリスチャン，神様の義人，神様の子，光の子，王と同じ祭司，神様の民，天国の市民，聖徒”と呼ばれます．今日は “聖徒”という呼称に関して調べます．

誰でもイエスキリストを信じればイエスキリストの内にあるようになります．イエスキリストの内にあれば神神しくなります．それで聖徒と呼ばれます．**コリント人への第一の手紙 1 章 2 節に “コリントにある神の教会、すなわち、わたしたちの主イエス・キリストの御名を至る所で呼び求めているすべての人々と共に、イエスキリストにあってきよめられ、聖徒として召されたかたがたへ。このイエスキリストは、わたしたちの主であり、また彼らの主であられる。**“神様によって区別されて神様のために区別された人”で聖なる生活をしなければなりません．聖なる生活と言うのは何ですか? 聖なる生活と言うのは今までの生活態度や方法を出してしまって行動するのではなく日常の仕事が聖なる仕事になるようにするのです．普通の仕事が聖なる仕事になるようにすることに関する理解を助けるために熱心とビジョンと消費に関してよく見ます．

第一は、聖なる熱心に対してよく見ます．

何の事でもその事がお上手で成果を出すためにはその仕事を熱心にしなければなりません．怠けな人に仕事を任せれば何も成すことができないです．イエス様はダルラント比喩として熱心に働く人と怠けな人に対して神様がどんなに扱うかを教訓なさいました．五つダルラントと二つのダルラント受けたしもべは主人が預けたお金を持ってまっすぐに行って商売しました．彼らは手まめに働きました．後日主人が帰って来てしもべたちと計算する時この二人のしもべに“善良で忠誠されたしもべ”と誉めました．そして “私があなたに多くのものなどを任せるはずだから，あなたの主人の楽し宴に参加しなさい．” 告げました．

一方主人から受けた一ダルラントを地に葬ってから持って来たしもべには主人が “悪しくて怠けなしもべ”と咎めました．そして “あの無益なしもべを外の暗い所で追い出しなさい．そこで泣きわめきながら歯ぎしりするでしょう．” と言いました．私たちに与えられたすべてのものが神様が授けられたダルラントです．私たちにあるすべての所有物と能力がダルラントで歳月もダルラントです．聖徒たちは自分が神様のしもべという認識を持ってすべての事を神様が任せた仕事で思って熱心をつくして働かなければなりません．

コロサイ人への手紙 3 章に **“何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から働きなさい。あなたがたが知っているとおり、あなたがたは御国をつぐことを、報いとして主から受けるであろう。あなたがたは、主イエスキリストに仕えているのである。”（コロサイ人への手紙 3:23,24)**と言いました．神様を仕える心で熱心に働かなければなりません．このような熱心は普通の熱心とは区別された“聖なる熱心”です

二番目は、聖なるビジョンに対してよく見ます．

“ビジョン”という言葉は “遠く眺めるとか，あらかじめ眺める．” または “理想に描く未来の姿”という意味で使われています．国語聖書に ‘黙示’，‘啓示’ あるいは ‘理想’ と翻訳されたこの単語の聖書原語は ‘ハゾン’ で英語聖書ではビジョン(vision)と翻訳されています．‘ハゾン’という単語が使われた聖書句節の中の瀋言で 29 章 18 節があります．**“預言がなければ民はわがままにふるまう、しかし律法を守る者はさいわいである。**.(Where there is no vision, the people perish.)” と翻訳されました．聖徒と言うのは神様が授けられた “ビジョン”を持って生きて行く人と言えます．こんなビジョンを “聖なるビジョン”と言います．イエスキリストがこの世の中へいらっしゃってあがない使役を果して昇天なさった後に暮している聖徒たちはイエス様の再臨と聖徒たちの復活と最後の審判と天国に対して啓示された言葉でよる燦爛たるビジョンを持つようになりました．

その他にも聖徒たちはいろいろ聖なるビジョンを持たなければなりません．すべての聖徒たちが共通で持たなければならない聖なるビジョンがあります．福音を広く伝えるビジョンです．イエスキリストが昇天なさる前に言いつけるのを **“「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の者は罪に定められる。” （マルコによる福音書 16:15,16)，“ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」。”（使徒行伝 1:8)**と言いました．だから聖徒たちは多くの人が暗みから光に，サタンの権勢から神様の位に帰って来て罪から救われることを受けて聖徒にくださる企業を得るようになるビジョンを持って力をつくして福音を伝えなければなりません．そして聖徒の個人と家政と社会生活で成そうとするさまざまなビジョンがなければなりません．誰も持つ普通のビジョンだが聖徒の皆さんはそれの聖なるビジョンになるようにしなければなりません．神様は私たちが多い事をして大変をしたと誉めるのではないです．聖なるビジョンを持って行った事だけ認めます．神様のみ旨と光栄を度外視して人本主義で行ったことは何らの価値も意味もなくなります．

三番目は、聖なる消費に対してよく見ます．

消費と言うのはお金，品物，時間，努力，体力を使って無くすことを意味します．人は一生多いことを獲得してまた多いことを消費しながら生きて行きます．聖徒たちはこのような消費が “聖なる消費”がなるようにしなければなりません．

新約聖書福音書に見れば “聖なる消費”を一特別な言葉が記録されています．ラザロの妹であるマリアに関する言葉です．イエスキリストが公的生涯の終り頃にベダニを訪問したがその村にラザロとその妹マルダとマリアが住んでいました．病んで死んで葬られた ラザロをイエスキリストが生かした事があった時から久しくない時でした．イエス様が弟子たちにおっしゃっている時にマリアがナード香油を持って来て破って香油をイエス様の足に注いで自分の髪の毛でイエス様の足をぬぐいました．香油の香りが全家に一杯でした．その香油は極めて高い香油でした．その時カリオデユーダがマリアに向けて “どんな理由で香油をこんなにむだ使いするか?” “この香油を三白デナリオンに売って貧しい者等に与えることができないか?” と咎めました．三白デナリオンは一人の仕事一年分賃銭にあたる大きい金額です．他の弟子たちもマリアの行動を叱りました．

するとイエスキリストがおっしゃるのを “そっとしておきなさいあなたがたがどんな理由で私をつらくするのか? マリアが私に良いことをしたと．” “真実で私があなたがたにいうのに全天下にどこでも福音が伝える所にはこの女の行ったことも言って私を記念しよう．” 告げました．神様のために，神様を礼拝して福音を伝えてイエスキリストの身になった教会のために消費することに虚費という言葉を使うことは適当ではないです．マリアはお兄様ラザロをまた生き返えるようになさったイエス様にどんなに感謝を表現するかと思って自分の一番めぼしい財産であるナード香油が入った石膏を破ってイエス様の足に注いで髪の毛で足をぬぐうことに決断したのです．私たちが神様を礼拝して福音を伝えて聖徒を仕えるために消費することは神様を嬉しくします．**ピリピ人への手紙 4 章 18 節に “わたしは、すべての物を受けてあり余るほどである。エパフロデトから、あなたがたの贈り物をいただいて、飽き足りている。それは、かんばしいかおりであり、神の喜んで受けて下さる供え物である。”** 言いました．私たちが神様に差し上げるのは財物だけではないです．時間，苦労，才能，命までです．神様に差し上げるということが負担ではなく喜びと幸せになる人は神様から受ける愛と恵みが何なのか本当に分かる聖徒です．

イエスキリストが十字架に釘つけられてからその死体がアリマデヨセフが提供した墓に葬られました．マクダラマリアを含めた女人たちはその葬礼を見守ったりしたが死体に香品を塗る事ができなかったです．女人たちは安息日が経つと夜明けに香品を持って墓に行きました．しかし墓は空いていました．イエスキリストがもう復活しました．時が遅かったのです．イエスキリストがおっしゃるのを “貧しい者はいつもあなたがたと一緒にいるが私はいつもいなかろう．” しました．だからラザロの妹マリアはイエス様の葬礼をあらかじめ準備したのがなりました．機会と言うのはいつもあるのではないです．死んだ後に後悔しても時が遅かったです．皆さんはこの世の中に泊まる間 “聖なる消費”をする聖徒になってください．

聖徒の皆さんは “イエスキリストにあって聖なる聖徒だと呼ばれる者です．聖徒は神神しく暮さなければなりません．普通の仕事が聖なる仕事になるようにすることが聖徒の知恵です．皆さんは聖なる熱心，聖なるビジョンを持って聖なる消費を楽しく行いながら生きて行くようにお願いします．